

## ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年間（2015年5月7日～2020年5月15日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	メキシコ株マザーファンドの受益証券
	メキシコ株マザーファンド	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ. メキシコの企業のDR（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ETF）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のDR（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたETFをいいます。また、メキシコから売り上げまたは利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ. 株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# メキシコ株ファンド

## 運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2017年5月17日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「メキシコ株ファンド」は、このたび、第4期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5680>

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率					
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末 (2015年11月17日)	9,781	0	△ 2.2	9,199	△ 8.0	96.9	—	—	165
2 期末 (2016年 5月17日)	8,771	0	△ 10.3	7,814	△ 15.1	97.3	—	—	154
3 期末 (2016年11月17日)	7,599	0	△ 13.4	6,932	△ 11.3	96.0	—	1.5	119
4 期末 (2017年 5月17日)	9,243	0	21.6	8,558	23.5	92.7	—	4.4	164

(注1) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

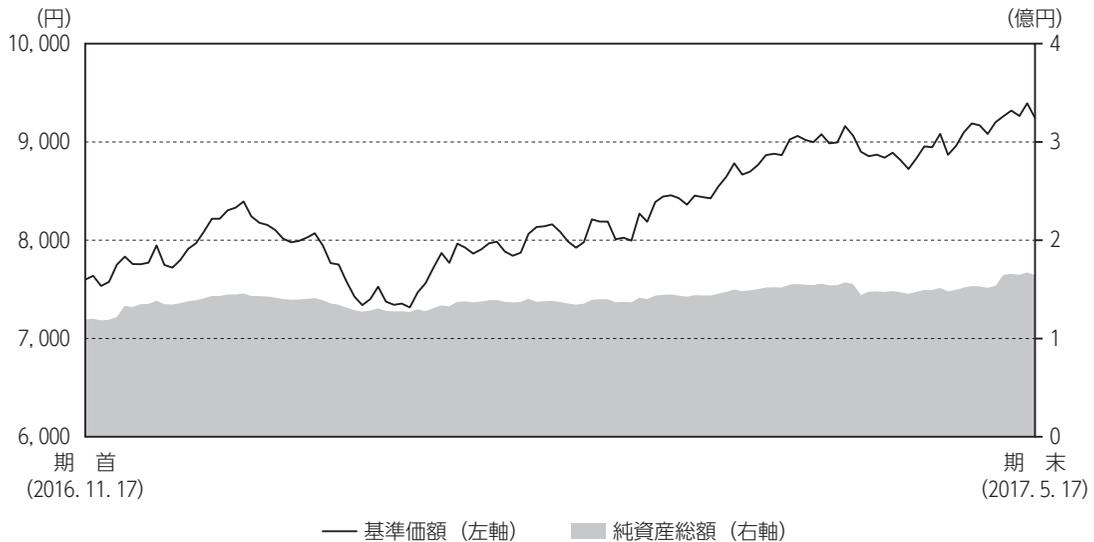
(注3) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

期首：7,599円

期末：9,243円

騰落率：21.6%

#### ■ 基準価額の変動要因

米国トランプ政権が、大統領選挙期間中に表明したメキシコに対する強硬路線を転換し現実路線にかじを切ったことで、通商政策に対する懸念が後退し、メキシコの株式市場や通貨は上昇しました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで上昇し、為替相場でメキシコ・ペソが対円で上昇したため、基準価額は上昇しました。

# メキシコ株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %			
(期首)2016年11月17日	7,599	—	6,932	—	96.0	—	1.5
11月末	7,772	2.3	7,095	2.4	93.6	—	1.3
12月末	8,071	6.2	7,416	7.0	96.0	—	2.2
2017年1月末	7,925	4.3	7,391	6.6	94.3	—	2.2
2月末	8,025	5.6	7,676	10.7	93.4	—	3.5
3月末	9,061	19.2	8,398	21.2	94.1	—	3.6
4月末	8,959	17.9	8,285	19.5	92.1	—	4.6
(期末)2017年5月17日	9,243	21.6	8,558	23.5	92.7	—	4.4

(注) 騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2016. 11. 18 ~ 2017. 5. 17)

**■メキシコ株式市況**

期首から2017年1月半ばにかけてのメキシコ株式市況は、米国トランプ政権が大統領選挙期間中の強硬な反自由貿易路線を維持したため、米国がNAFTA（北米自由貿易協定）から脱退する可能性への懸念が強かったことを受けて、変動幅の大きい展開が続きました。2月にかけては、就任式においてトランプ大統領がNAFTAからの脱退といった極端な政策を発表しなかったことや、メキシコ・ペソの大幅な下落にもかかわらずメキシコ景気が安定的に推移したことが好感され、メキシコ株式市況は上昇しました。その後も、同政権の通商政策担当高官がメキシコとの関係について建設的な見方を示したことが好感されたほか、米国や中国の製造業景況感指数が上昇し世界景気の加速が示されたことを背景に、堅調な展開が続きました。北朝鮮情勢をめぐる緊張感の高まりや高値警戒感から売られる局面はありましたが、高値圏を維持して期末を迎えました。

**■為替相場**

メキシコ・ペソは対円で上昇しました。米国トランプ政権の経済政策への期待から円安米ドル高が進展し、ペソも2016年12月半ばにかけて上昇しましたが、同政権がNAFTAから脱退する可能性への懸念が高まると2017年1月にかけては下落に転じました。その後、同政権がNAFTAに対して建設的な態度を示したことや、世界景気見通しの改善を受けて円安が進展したため、ペソは3月後半にかけて再度上昇基調となりました。4月には北朝鮮情勢への懸念から下落しましたが、懸念後退とともに買い戻され、高値圏で期末を迎えました。

**前期における「今後の運用方針」****■当ファンド**

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

**■メキシコ株マザーファンド**

短期的には、トランプ氏の保護貿易主義政策などへの懸念から、メキシコ株式市場は神経質な展開が続くとみられます。しかし、トランプ氏が選挙中の公約のすべてを額面通り実施することは非常に難しいと予想され、具体的で実現性のある政策案が明らかにされるにつれて過度に悲観的な見方が修正され、株式市場は回復基調に転じるものとみています。中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推進している構造改革による潜在成長率の押し上げなどを

背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

### ポートフォリオについて

(2016. 11. 18 ~ 2017. 5. 17)

#### ■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率を高位としました。

#### ■メキシコ株マザーファンド

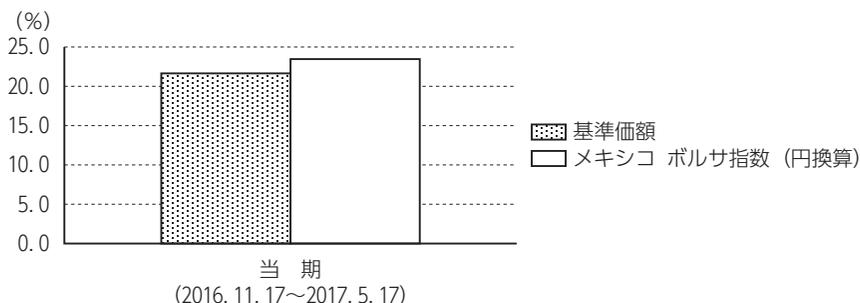
当期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、株価下落により割安感が強まった銀行 BANREGIO（金融）や銀行 GRUPO FIN SANTANDER（金融）、保有ホテル数の拡大により業績急拡大が期待される GRUPO HOTELERO SANTA FE（一般消費財・サービス）、米国とメキシコのセメント需要拡大の恩恵を受ける GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA（素材）などを買付けました。一方で、業績見通しが予想外に悪化した ALFA（資本財・サービス）や航空会社 CONTROLADORA VUELA CIA DE（資本財・サービス）、株価上昇により相対的な魅力が低下した自動車部品会社 NEMAK（一般消費財・サービス）などを売り付けました。

足元のポートフォリオは、業種では、食品会社や飲料会社を中心とした生活必需品セクターや、銀行を中心とした金融セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、米国や欧州でトルティーヤの販売が好調な GRUMA（生活必需品）や、銀行 GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）などを高位の組み入れとしました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））との騰落率の対比です。参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2016年11月18日	2017年5月17日
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	108

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

### ■メキシコ株マザーファンド

トランプ政権の通商政策への態度が軟化し、メキシコに対する悲観的な見方は後退しています。N A F T A再交渉の行方や米国の税制改革に国境税の調整が含まれるかどうかなどを見守る必要がありますが、米国側が建設的な態度を維持する限りメキシコ景気が大きなダメージを受ける可能性は小さく、メキシコ株式の下値余地は限定的とみています。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。継続的な雇用の増加と低水準のインフレにより、メキシコ景気は今後も堅調に推移すると期待されます。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 11. 18~2017. 5. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	73円	0. 884%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8, 296円です。
(投 信 会 社)	(36)	(0. 428)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0. 428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	18	0. 221	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(17)	(0. 209)	
(投 資 信 託 証 券)	(1)	(0. 012)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	42	0. 501	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(41)	(0. 491)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 008)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	133	1. 606	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## メキシコ株ファンド

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年11月18日から2017年5月17日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ株マザーファンド	41,168	35,500	22,470	19,400

(注) 単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2016年11月18日から2017年5月17日まで)

項 目	当 期
	メキシコ株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	131,788千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	133,964千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.98

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

### ■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
メキシコ株マザーファンド	152,711	171,409	164,261			

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2017年5月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
メキシコ株マザーファンド	164,261	99.1
コール・ローン等、その他	1,562	0.9
投資信託財産総額	165,824	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.60円、1メキシコ・ペソ=6.03円です。

(注3) メキシコ株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(162,529千円)の投資信託財産総額(164,264千円)に対する比率は、98.9%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年5月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	165,824,365円
コール・ローン等	1,562,755
メキシコ株マザーファンド(評価額)	164,261,610
(B) 負債	1,258,235
未払解約金	1,865
未払信託報酬	1,252,675
その他未払費用	3,695
(C) 純資産総額(A-B)	164,566,130
元本	178,034,876
次期繰越損益金	△ 13,468,746
(D) 受益権総口数	178,034,876口
1万口当り基準価額(C/D)	9,243円

\* 期首における元本額は157,155,938円、当期中における追加設定元本額は44,329,238円、同解約元本額は23,450,300円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,243円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は13,468,746円です。

## ■損益の状況

当期 自2016年11月18日 至2017年5月17日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 163円</b>
受取利息	6
支払利息	△ 169
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>27,379,634</b>
売買益	29,228,664
売買損	△ 1,849,030
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,256,394</b>
<b>(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)</b>	<b>26,123,077</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 31,877,554</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 7,714,269</b>
(配当等相当額)	( 217,772)
(売買損益相当額)	(△ 7,932,041)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 13,468,746</b>
<b>次期繰越損益金 (G)</b>	<b>△ 13,468,746</b>
追加信託差損益金	△ 7,714,269
(配当等相当額)	( 217,772)
(売買損益相当額)	(△ 7,932,041)
分配準備積立金	1,718,790
繰越損益金	△ 7,473,267

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：393,310円（未監査）

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,392,976円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	217,772
(d) 分配準備積立金	325,814
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,936,562
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,936,562
(h) 受益権総口数	178,034,876口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# メキシコ株マザーファンド

## 運用報告書 第4期 (決算日 2017年5月17日)

(計算期間 2016年11月18日～2017年5月17日)

メキシコ株マザーファンドの第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ. メキシコの企業のDR（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ETF）
運用方法	①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のDR（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたETFをいいます。また、メキシコから売り上げまたは利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ. 株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

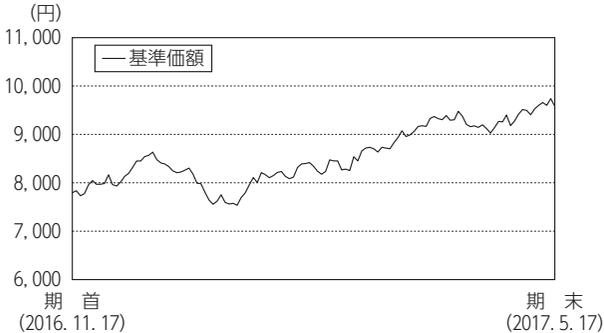
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入 比率	株式 先物 比率	投資信託 証券 組入比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首) 2016年11月17日	円	%	6,932	%	%	%	%
11月末	7,986	2.4	7,095	2.4	93.8	—	1.3
12月末	8,305	6.5	7,416	7.0	96.2	—	2.2
2017年1月末	8,169	4.8	7,391	6.6	94.5	—	2.2
2月末	8,283	6.2	7,676	10.7	93.6	—	3.5
3月末	9,369	20.2	8,398	21.2	94.3	—	3.6
4月末	9,275	19.0	8,285	19.5	92.3	—	4.6
(期末) 2017年5月17日	9,583	22.9	8,558	23.5	92.9	—	4.4

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## 《運用経過》

## ◆基準価額等の推移について

## 【基準価額・騰落率】

期首：7,796円 期末：9,583円 騰落率：22.9%

## 【基準価額の主な変動要因】

米国トランプ政権が、大統領選挙期間中に表明したメキシコに対する強硬路線を転換し現実路線にかじを切ったことで、通商政策に対する懸念が後退し、メキシコの株式市場や通貨は上昇しました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで上昇し、為替相場でメキシコ・ペソが対円で上昇したため、基準価額は上昇しました。

## ◆投資環境について

## ○メキシコ株式市況

期首から2017年1月半ばにかけてのメキシコ株式市況は、米国トランプ政権が大統領選挙期間中の強硬な反自由貿易路線を維持したため、米国がNAFTA (北米自由貿易協定) から脱退する可能性への懸念が強かったことを受けて、変動幅の大きい展開が続ききました。2月にかけては、就任式においてトランプ大統領がNAFTAからの脱退といった極端な政策を発表しなかったことや、メキシコ・ペソの大幅な下落にもかかわらずメキシコ景気が安定的に推移したことが好感され、メキシコ株式市況は上昇しました。その後も、同政権の通商政策担当高官がメキシコとの関係について建設的な見方を示したことが好感されたほか、米国や中国の製造業景況指数が上昇し世界景気の加速が示されたことを背景に、堅調な展開が続きました。北朝鮮情勢をめぐる緊張感の高まりや高値警戒感から売られる局面はありましたが、高値圏を維持して期末を迎えました。

## ○為替相場

メキシコ・ペソは対円で上昇しました。米国トランプ政権の経済政策への期待から円安米ドル高が進展し、ペソも2016年12月半ばにかけて上昇しましたが、同政権がNAFTAから脱退する可能性への懸念が高まる2017年1月にかけては下落に転じました。その後、同政権がNAFTAに対して建設的な態度を示したことや、世界景況見通しの改善を受けて円安が進展したため、ペソは3月後半にかけて再度上昇基調となりました。4月には北朝鮮情勢への懸念から下落しましたが、懸念後退とともに買い戻され、高値圏で期末を迎えました。

## ◆前期における「今後の運用方針」

短期的には、トランプ氏の保護貿易主義政策などへの懸念から、メキシコ株式市場は神経質な展開が続くとみられます。しかし、トランプ氏が選挙中の公約のすべてを額面通り実施することは非常に難しいと予想され、具体的で実現性のある政策案が明らかにされるにつれて過度に悲観的な見方が修正され、株式市場は回復基調に転じるものとみています。中長期的には、高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推進している構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行い、ポートフォリオを構築する方針です。

## ◆ポートフォリオについて

当期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、株価下落により割安感が強まった銀行BANREGIO (金融) や銀行GRUPO FIN SANTANDER (金融)、保有ホテル数の拡大により業績急拡大が期待されるGRUPO HOTELERO SANTA FE (一般消費財・サービス)、米国とメキシコのセメント需要拡大の恩恵を受

## メキシコ株マザーファンド

ける GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA (素材) などを買い付けました。一方で、業績見通しが予想外に悪化した ALFA (資本財・サービス) や航空会社 CONTROLADORA VUELA CIA DE (資本財・サービス)、株価上昇により相対的な魅力が低下した自動車部品会社 NEMAK (一般消費財・サービス) などを売り付けました。

足元のポートフォリオは、業種では、食品会社や飲料会社を中心とした生活必需品セクターや、銀行を中心とした金融セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、米国や欧州でトルティーヤの販売が好調な GRUMA (生活必需品) や、銀行 GRUPO FINANCIERO BANORTE (金融) などを高位の組み入れとしました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

参考指数 (メキシコ ボルサ指数 (円換算)) はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

### 《今後の運用方針》

トランプ政権の通商政策への態度が軟化し、メキシコに対する悲観的な見方は後退しています。NAFTA再交渉の行方や米国の税制改革に国境税の調整が含まれるかどうかなどを見守る必要がありますが、米国側が建設的な態度を維持する限りメキシコ景気が大きなダメージを受ける可能性は小さく、メキシコ株式の下値余地は限定的とみています。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。継続的な雇用の増加と低水準のインフレにより、メキシコ景気は今後も堅調に推移すると期待されます。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	19円 ( 18)
(投資信託証券)	( 1)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	43 ( 42)
(その他)	( 1)
合 計	62

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

### ■売買および取引の状況

#### (1) 株 式

(2016年11月18日から2017年5月17日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	メキシコ	百株 2,974 ( 43.13)	千メキシコ・ペソ 12,520 (△ 16)	百株 2,853.55	千メキシコ・ペソ 10,555

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( ) 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

#### (2) 投資信託証券

(2016年11月18日から2017年5月17日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	メキシコ	千口 65.8 ( —)	千メキシコ・ペソ 1,053 (△ 33)	千口 9 ( —)	千メキシコ・ペソ 298 ( —)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付 ( ) 内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付 ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

## (1) 株式

(2016年11月18日から2017年5月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		株 数		金 額	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
BANREGIO GRUPO FINANCIERO SA (メキシコ)	13.6	8,504	625	ALFA S. A. B. -A (メキシコ)	36.5	5,609	153
GRUPO FIN SANTANDER-B (メキシコ)	39	7,155	183	GRUMA S. A. B. -B (メキシコ)	3.6	5,584	1,551
GRUMA S. A. B. -B (メキシコ)	4.5	6,526	1,450	CONTROLADORA VUELA CIA DE-A (メキシコ)	34	5,411	159
GRUPO HOTELERO SANTA FE SAB (メキシコ)	100	6,480	64	ALPEK SA DE CV (メキシコ)	35	4,393	125
GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA (メキシコ)	12	6,108	509	NEMAK SAB DE CV (メキシコ)	30	3,718	123
ALSEA SAB DE CV (メキシコ)	16	5,063	316	ELEMENTIA SAB DE CV (メキシコ)	28.75	3,548	123
GENTERA SAB DE CV (メキシコ)	30	4,870	162	GENTERA SAB DE CV (メキシコ)	19	3,415	179
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B (メキシコ)	5	4,613	922	FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD (メキシコ)	2.8	2,477	884
MEGACABLE HOLDINGS-CPO (メキシコ)	10.8	4,042	374	HOTELES CITY EXPRESS SAB DE (メキシコ)	25	2,349	93
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD (メキシコ)	4.2	3,792	902	MEXICHEM SAB DE CV-* (メキシコ)	8.2	2,309	281

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## (2) 投資信託証券

(2016年11月18日から2017年5月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		株 数		金 額	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
ASESOR DE ACTIVOS PRISMA SAP (メキシコ)	48	3,097	64	PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA (メキシコ)	9	1,742	193
PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA (メキシコ)	17.8	2,950	165				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

## (1) 外国株式

銘 柄	株 数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(メキシコ)	百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円	
INDUSTRIAS BACHOCO-SER B	96	109	933	5,626	生活必需品
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT	143	141	1,429	8,622	資本財・サービス
BANREGIO GRUPO FINANCIERO SA	25	161	1,722	10,384	金融
UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV	62	—	—	—	金融
RASSINI SAB DE CV	160	170	1,467	8,846	一般消費財・サービス
MEGACABLE HOLDINGS-CPO	66	139	997	6,013	一般消費財・サービス
NEMAK SAB DE CV	500	340	675	4,071	一般消費財・サービス
CONTROLADORA VUELA CIA DE-A	200	—	—	—	資本財・サービス
ELEMENTIA SAB DE CV	287.5	—	—	—	資本財・サービス
GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA	—	120	1,032	6,222	素材
GRUPO HOTELERO SANTA FE SAB	—	1,000	1,099	6,626	一般消費財・サービス
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B	—	33	664	4,009	資本財・サービス

## メキシコ株マザーファンド

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円		
GRUPO TELEVISIVA SAB-SER CPO	44.05	—	—	—	一般消費財・サービス	
TELESITES SAB DE CV	8.2	8.2	9	58	電気通信サービス	
CEMEX SAB-CPO	1,028.32	1,069.45	1,730	10,434	素材	
GRUMA S. A. B. -B	69	78	1,882	11,349	生活必需品	
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD	66	80	1,398	8,432	生活必需品	
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV	91	126	1,674	10,095	生活必需品	
ALPEK SA DE CV	350	—	—	—	素材	
GRUPO FIN SANTANDER-B	—	280	966	5,826	金融	
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N	112	112	969	5,848	公益事業	
GENEREA SAB DE CV	375	485	1,512	9,121	金融	
HOTELES CITY EXPRESS SAB DE	250	—	—	—	一般消費財・サービス	
MEXICHEM SAB DE CV-*	80	—	—	—	素材	
ALSEA SAB DE CV	96	211	1,477	8,911	一般消費財・サービス	
GRUPO BIMBO SAB- SERIES A	80	—	—	—	生活必需品	
ALFA S. A. B. -A	456	216	593	3,579	資本財・サービス	
WALMART DE MEXICO SAB DE CV	374	304	1,287	7,763	生活必需品	
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O	165	165	1,781	10,743	金融	
ファンド合計	株数、金額	5,184.07	5,347.65	25,304	152,588	
	銘柄数 < 比率 >	25 銘柄	21 銘柄		< 92.9% >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 外国投資信託証券

銘柄	株数	株数	期末		
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千メキシコ・ペソ	千円	
(メキシコ)					
ASESOR DE ACTIVOS PRISMA SAP	—	48	551	3,322	
PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA	11	19.8	638	3,851	
合計	口数、金額	11	67.8	1,189	7,174
	銘柄数 < 比率 >	1 銘柄	2 銘柄		< 4.4% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2017年5月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	152,588 千円	92.9 %
投資信託証券	7,174	4.4
コール・ローン等、その他	4,501	2.7
投資信託財産総額	164,264	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売相場場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.60円、1メキシコ・ペソ=6.03円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(162,529千円)の投資信託財産総額(164,264千円)に対する比率は、98.9%です。

## ■損益の状況

当期 自2016年11月18日 至2017年5月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,467,704円
受取配当金	1,467,373
受取利息	810
支払利息	△ 479
(B) 有価証券売買損益	28,354,821
売買益	30,842,613
売買損	△ 2,487,792
(C) その他費用	△ 711,294
(D) 当期損益金 (A + B + C)	29,111,231
(E) 前期繰越損益金	△ 33,657,582
(F) 解約差損益金	3,070,048
(G) 追加信託差損益金	△ 5,668,102
(H) 合計 (D + E + F + G)	△ 7,144,405
次期繰越損益金 (H)	△ 7,144,405

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年5月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	164,264,977円
コール・ローン等	4,192,245
株式 (評価額)	152,588,967
投資信託証券 (評価額)	7,174,422
未収配当金	309,343
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A - B)	164,264,977
元本	171,409,382
次期繰越損益金	△ 7,144,405
(D) 受益権総口数	171,409,382口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,583円

\* 期首における元本額は152,711,328円、当期中における追加設定元本額は41,168,102円、同解約元本額は22,470,048円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ株ファンド171,409,382円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,583円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7,144,405円です。